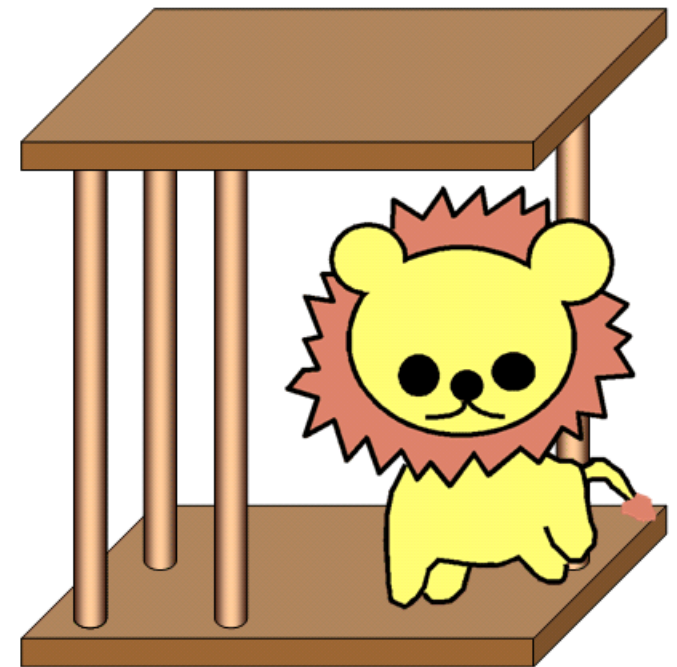


WAF入門

～ 原理・効果・限界 ～



2008年9月27日

徳丸 浩

アジェンダ

- WAFとはなにか
- 商用WAFについて
- 防御の実際
- まとめ(WAFとどう付き合うか)

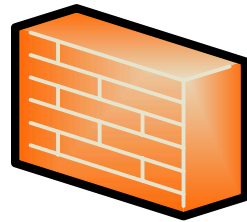
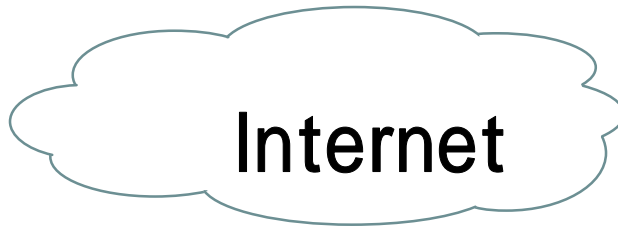
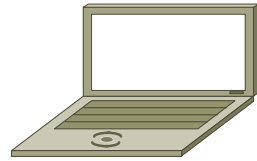


WAFとはなにか

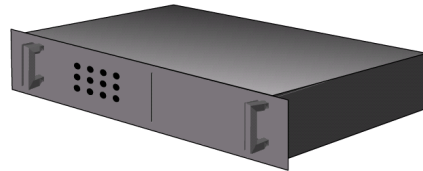


- HTTPリバースプロキシ方式でWebアプリの攻撃から防御するツールと考えると分かりやすい
 - mod_proxy, mod_wafulなどは例外
- WAFの防御戦略
 - 入力値検証
 - ホワイトリスト
 - ブラックリスト
 - 不正な文字エンコード、特殊文字(ヌルなど)
 - 画面遷移の検証
 - 外部からの入り口
 - 内部の遷移
 - 値の保護
 - Cookie
 - Hidden / Radio Button ...

WAFの配置

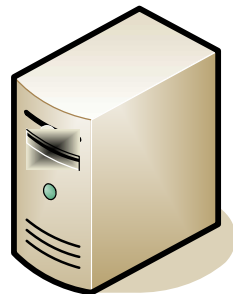


Firewall



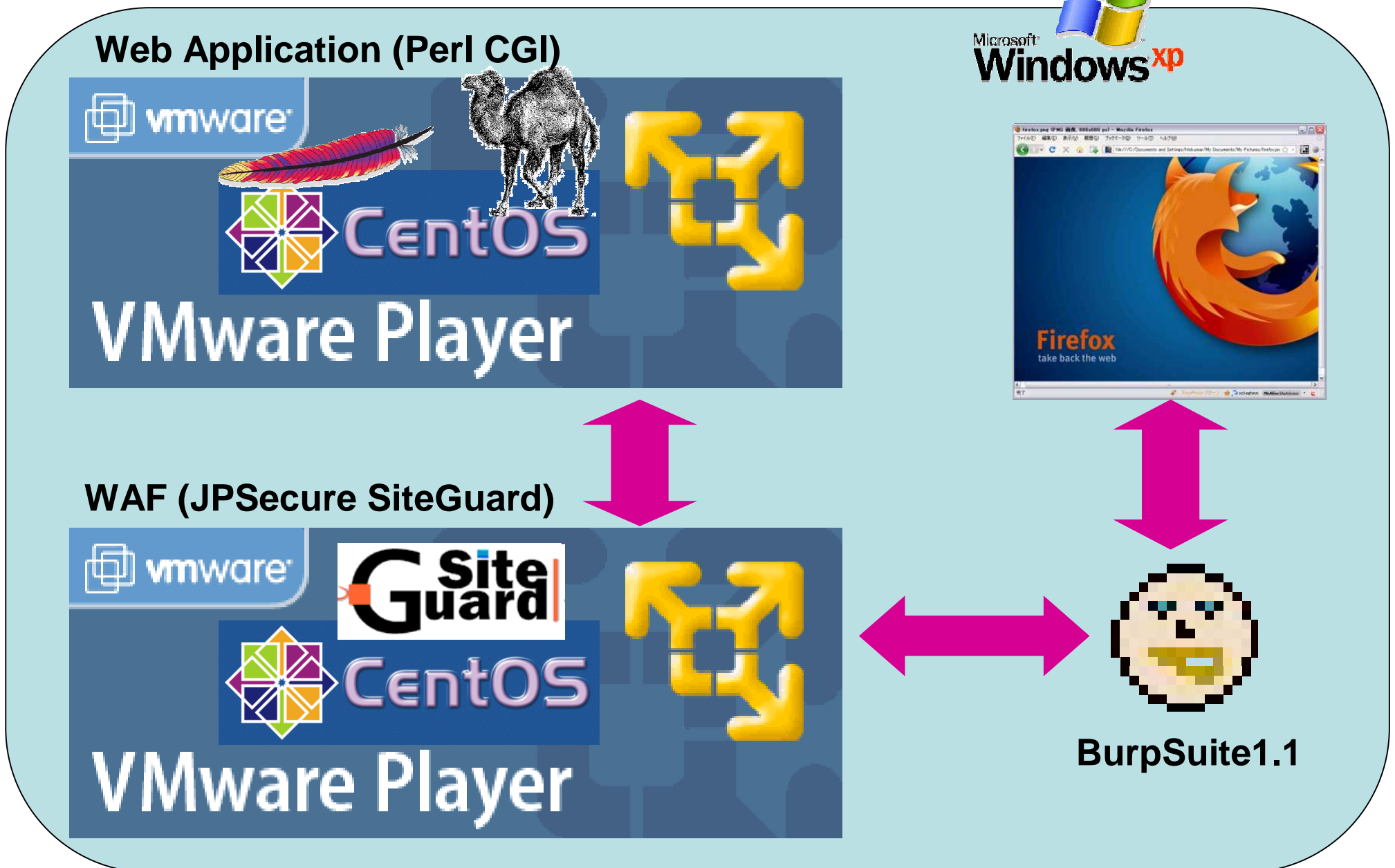
WAF

リバースプロキシ型
透過型(ブリッジ型、ルータ型)



Web Server

本日のデモ環境



WAFの変遷



ソフトウェアタイプ

旧Sanctum AppShield

旧KaVaDo InterDo

F-Secure Site Guard

Kanatoko Guardian@JUMPERZ.NET(オープンソース)

WatchFire F5(ディスコン)

Protegrity(日本では販売停止)

(スピンアウトしてJP-Secureに)

アプライアンス

旧MagnaFire TrafficShield

F5 BIG-IP Application Security Manager

旧Teros Secure Application Gateway

Citrix Application Firewall

NetContinuum NCシリーズ

Barracuda Web Site Firewall

Barracuda Web Application Controller

SecureSphere Imperva

WAFの宣伝文句は目に余る



要件6.6対応はWAFの導入が必須要件

特に要件6.6の「Webアプリケーションに対する既知の攻撃に対する防御」においては、これまで「推奨する」とどまっていたものが、2008年6月30日以降は「必須となり、**WAF (Webアプリケーション・ファイアウォール)**の導入が不可欠」に変わります。つまり何らかの形でカード決済に関わる処理を持つWebサイトにはWAFが必要になります。

<http://www.f5networks.co.jp/solution/topics/pcidss/waf.html>

6.6 Ensure that all web-facing applications are protected against known attacks by applying **either** of the following methods:

- **Having all custom application code reviewed for common vulnerabilities** by an organization that specializes in application security
- **Installing an application layer firewall** in front of web-facing applications.

Note: This method is considered a best practice until June 30, 2008, after which it becomes a requirement.

ホワイトリスト防御の問題点



- 使える場所が限定される
 - 数値項目、メールアドレス、ID類、選択肢など
- ユーザのご入力後のフォローがなく、ユーザビリティが下がる(デモで)
- 設定が面倒(項目ごとに設定要)
- つまり、手間がかかる割りに、誰も嬉しくないという
WAFの三重苦を象徴する結果に
 - 割高で あてにならぬも 負担増

ブラックリストこそ本命



- ブラックリストは使う場所をあまり選ばない
- ブラックリストで弾かれてもユーザには違和感を与えにくい...はず
 - 郵便番号欄に英字記号をうっかり入れたユーザには、親切にナビゲーションする必要がある
 - 住所欄に `"><script>alert ..` を入れるような輩には厳しく対応して差し支えないww
- ブラックリストの管理が面倒なのはベンダー側であって、ユーザ側ではない
(一方、ホワイトリストはユーザ側が面倒)

難読化に対する神話



- JavaScriptやSQLの難読化により、WAFをすり抜けられるという発言があるが...

- 難読化はそれほど**はみ出す部分**でもよく**難読化を解く部分**

```
z';DECLARE%20@S%20NVARCHAR(4000);SET%20
0@S=CAST(0x440045004300...7200%20AS%20NV
ARCHAR(4000));EXEC(@S);--
```

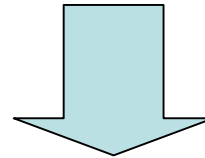
出展:<http://blogs.technet.com/neilcar/archive/2008/03/15/anatomy-of-a-sql-injection-incident-part-2-meat.aspx>

- 攻撃コードの目的は難読化できるが、
 - 文字列リテラルを「はみ出す」部分は難読化できない
 - 難読化を元に戻すコードは難読化できない
- まともなシグネチャなら、難読化されていても対応可能

文字コードどうする？



- 半端なShift_JIS
- 冗長なUTF-8
- みんなUTF-7が大好きだwww



- 不正な文字コードのチェックで対応可能
- デフォルト文字エンコードの設定

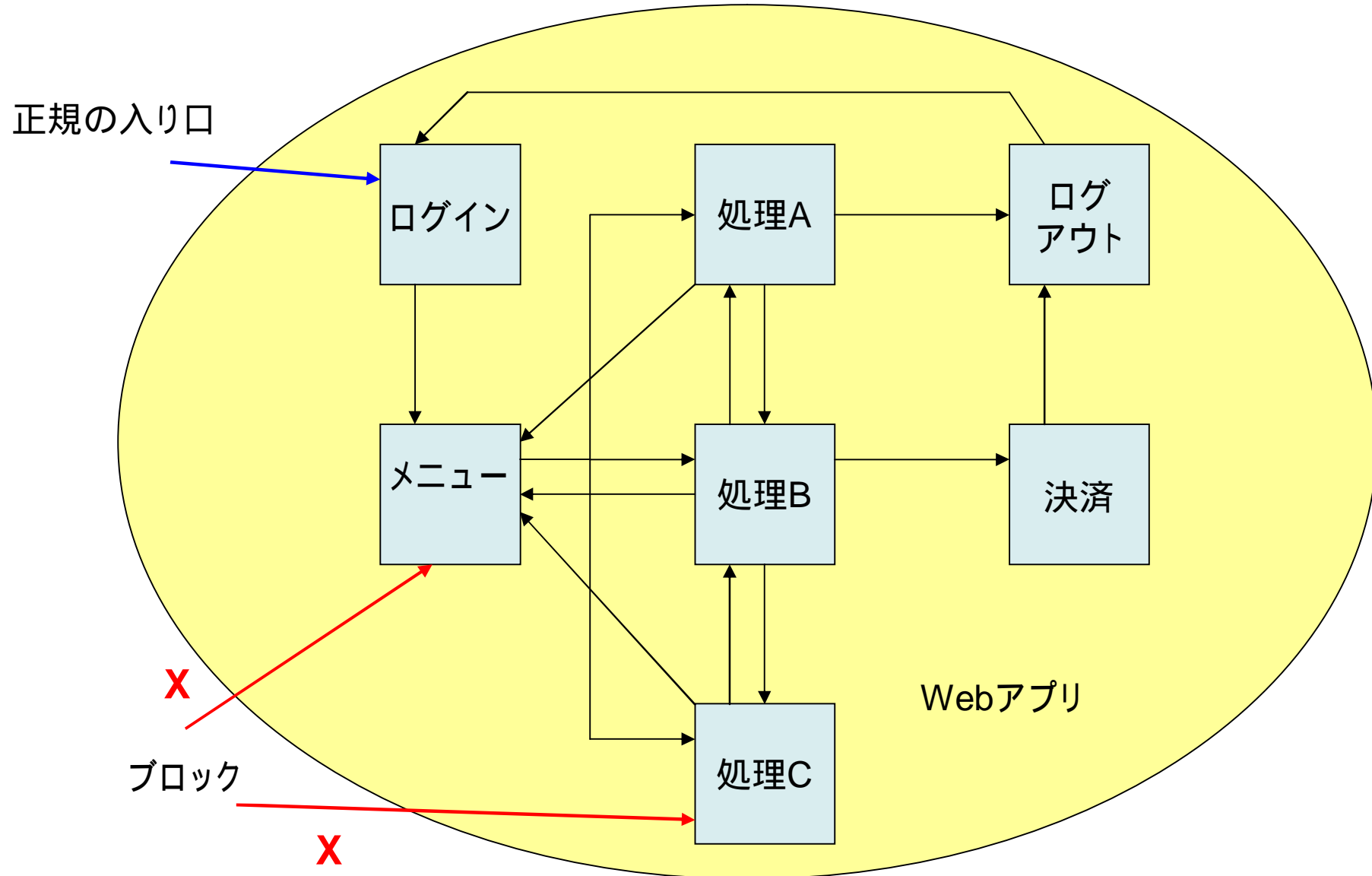
デフォルト文字コード設定 (charset)	<input type="button" value="有効"/> <input checked="" type="button" value="無効"/>
	文字コード(charset) <input type="text" value="UTF-8"/>

画面遷移のチェックは・・・



- 画面遷移のチェックは二種類ある
 - 外部からの入り口となるページを限定し、それ以外のページは、外部からの遷移を拒否する
 - 内部の遷移も決まった遷移のみを許容する
- 運用上の問題が多い
 - ユーザにとっては不便
 - SEO上不利になる場合も
 - 内部遷移を厳重にチェックすると、戻るボタンが使えなくなる
- そのわりに防御効果が薄い(後述)

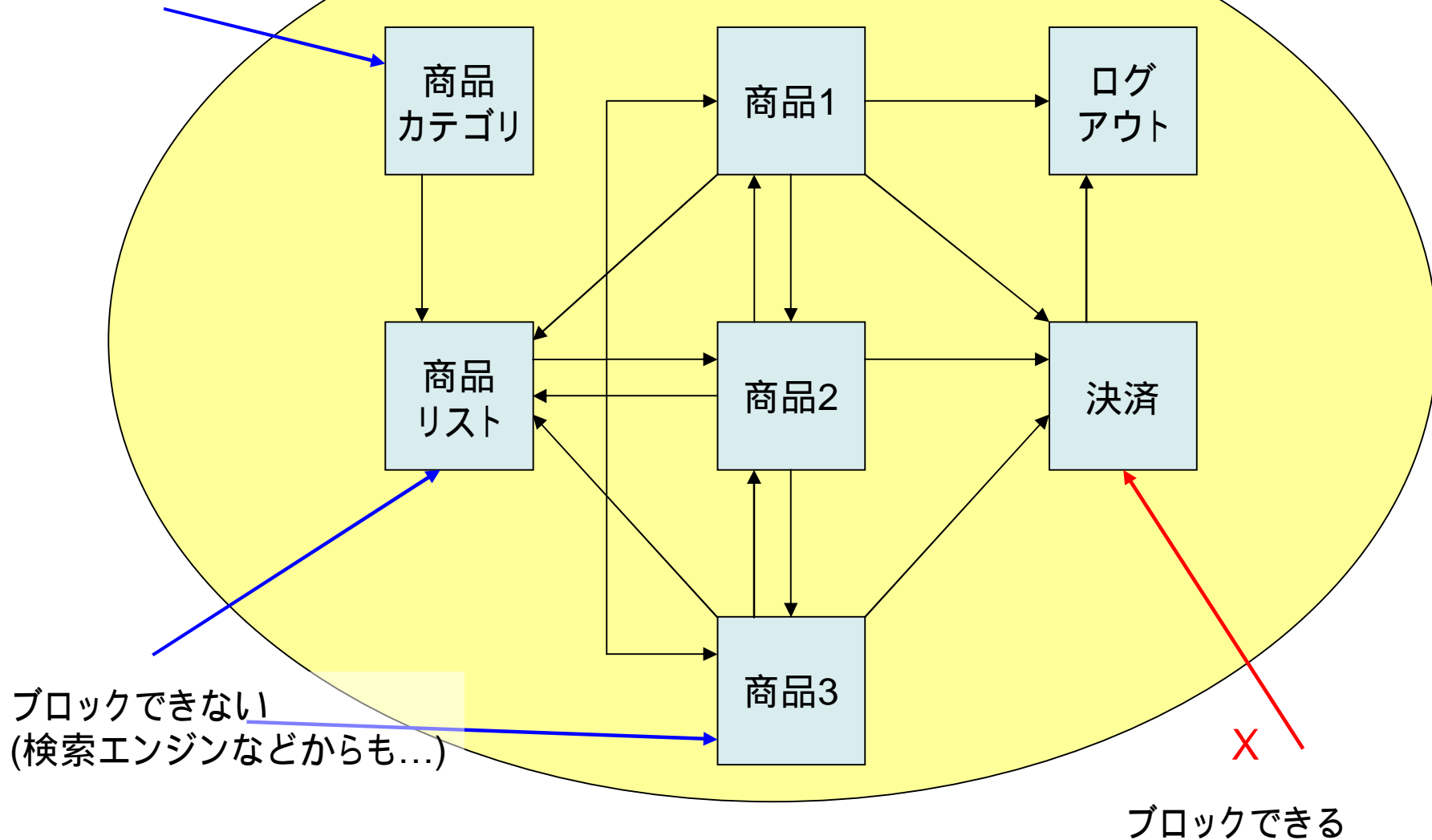
業務システムの場合は外部からの入りを制限できる



ECサイトの場合は外部からの入り口を制限しにくい



正規の入り口



画面遷移チェックの防御効果



- あまり期待できない
- 能動的攻撃の場合(SQLインジェクションなど)
 - 正規の入り口から入っていけばいいだけ
 - 自動化攻撃にはある程度は期待できるかも
- 受動的攻撃の場合(XSS、CSRFなど)
 - これに期待したいわけだが・・・
 - IFRAME要素などで、順につついていけば貫通
 - CSRF対策には、専用の機能を
(例:Gurdian@JUMPERZ.NET by Kanatoko)
- 続きはデモで

WAFをどう使うか



- WAFによる防御が完全でないことは誰もが認めるところ
- 基本はプログラミング上の対策
- 完全でないものに、高額な費用と多大な手間を掛けることはナンセンス
- 保険的な対策と割り切る
- 安い、あるいは無料のWAFを手間を掛けずに導入する
- WAFも *ゆるふわ* がよい？



ご清聴ありがとうございました